

第20回IHEワークショップ名古屋

病棟システムとIHE

岡崎市民病院

中元雅江

今、なぜ病棟か

- ここ数年で病棟機能は変化している
- 病棟の患者層の変化
 - 在院日数短縮、7:1看護配置等で明らかに重症
 - ICUと病棟をきりはなしていいのか
- 病棟のプレイヤーの変化
 - 病棟スタッフは医師と看護師だけではない
 - ユースケースが大幅に変わる可能性
- 検出機器のインテリジェント化
 - 検出された情報活用への期待

病棟プレイヤーの増加

- 医師と看護師も分担見直し
- 理学療法士、作業療法士：運動機能評価→リハビリ
- 薬剤師：副作用早期発見のための観察→配薬
- 言語聴覚士、歯科衛生士：摂食機能評価→嚥下訓練

検出された患者の情報を必要とする職種が急増

役割分担の見直し

- 勤務医の負担軽減策
 - 医師事務補助員の登場など
- 看護師も業務拡大
 - 薬剤の投与量調節等が許容
- コメディカルの業務拡大
 - 指示を受けて実施するだけではない

検出された情報を把握する人, その情報に基づいて行動する人, どちらも変わり得る

栄養士

技師

医師

患者

薬剤師

看護師

療法士

検出機器のインテリジェント化

- 検出機器は生体モニタだけではない
 - 病棟のナースコール, ベッドセンサ, 尿量計なども
 - 事故防止対策
- 移動管理の単位を「患者単位」だけでなく「ベッド単位」で考える必要性
 - 病棟間の移動だけでなく, 病棟内の移動も

従来のパターン

医師

コメディカル

指示

指示受け

介入

結果

評価

報告

プロセスの管理機能

従来のパターン

医師

コメディカル

患者

評価

報告

介入

状態の変化

検出

通知

知らせる機能

病棟では・・・

- 医師の指示のもとに業務が行なわれるが、実際は医師は病棟に常時滞在していない。
- 電子化により情報の共有は図れたかもしれないが、コミュニケーションは減っている？
- 患者の変化を速やかに検知したい。

問題点の早期発見, 安全な介入を支援
患者サイドからのリアルタイムな情報利用へ

いつもとちがう
点滴が終わりそう

気付かせる機能

トイレに行きたい
異常がおきた

知らせる機能

一人は心配
そばにいて欲しい

見守る機能

安全・安心

患者サイドからの情報発信

- 正確な所在情報
 - ベッド管理を現場から
- 現場で発生した情報を迅速利用
 - 機器との標準的な接続
- 情報の見やすさ
 - 必要な情報が埋もれない
- 対応後の記録と評価

移動情報



違う患者の情報

510-3

ナースコール

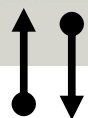
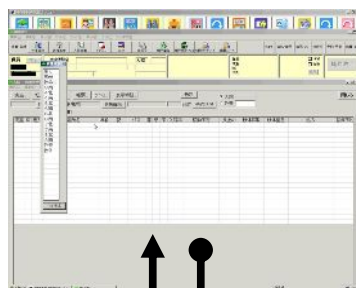
SpO2 501-2
入院 花子
内科 女 護

生体情報モニタ

リアルタイムな情報連携

患者サイドからの情報

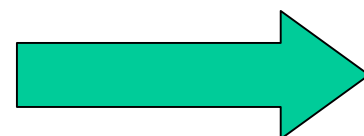
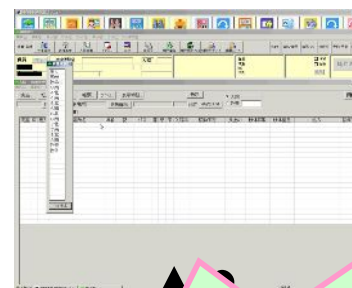
電子カルテ



生体情報モニタ



電子カルテ



更新



大きな改修

標準的な接続仕様

PAM

(Patient Administration Management)

患者ID, 診療情報, 緊急治療内の移動をサポートするメッセージ交換に基づくトランザクションを定義する

▪ Patient Identity Management

患者情報の登録, 更新, 暫定患者の作成, 統合

▪ Patient Encounter Management

外来, 入院, 病棟, 病室, ベッド, 受診管理

<option>

- Merge
- Inpatient / Outpatient Encounter
- Advanced Encounter Management
外出, 担当医の変更
- Temporary Patient Transfer Tracking
放射線室などへの移動, 戻り
- Historic Movement Management

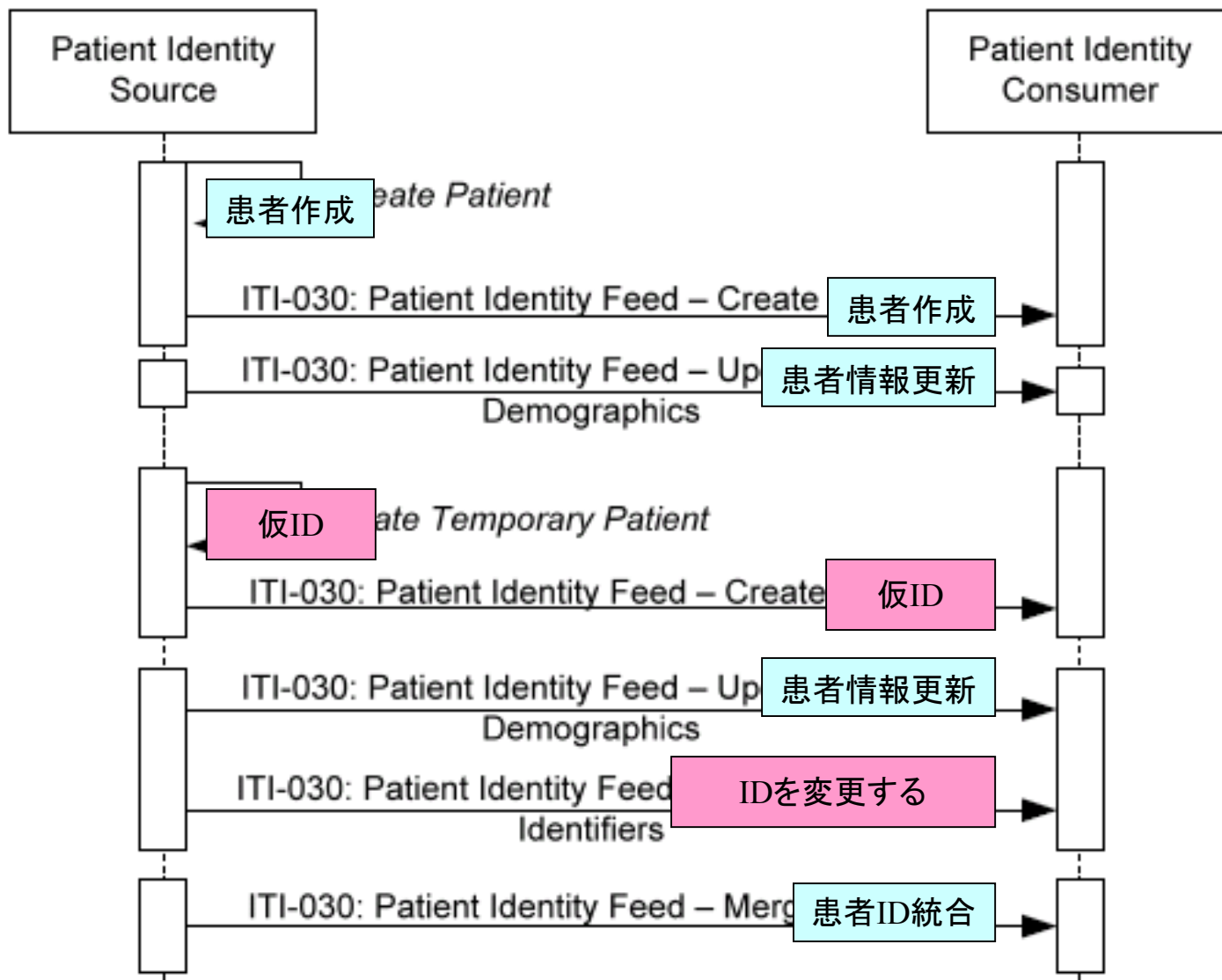
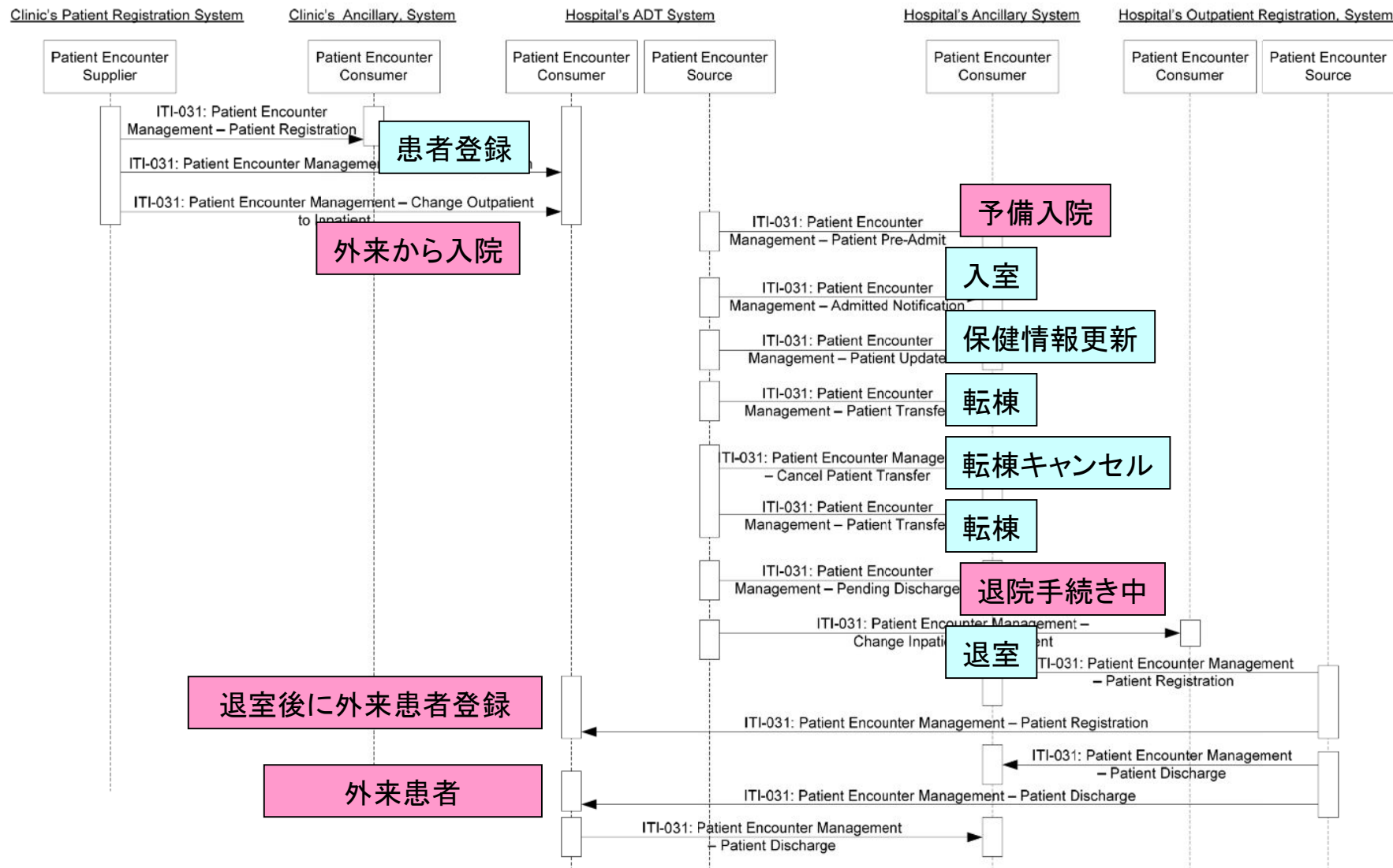


Figure 14.5-1 Patient Identity Management Process Flow in PAM Profile



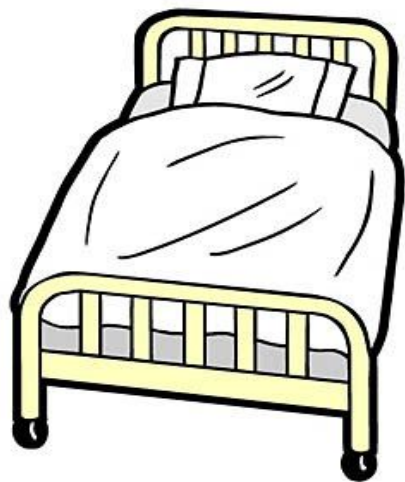
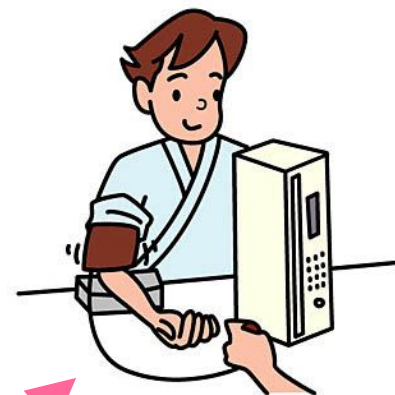
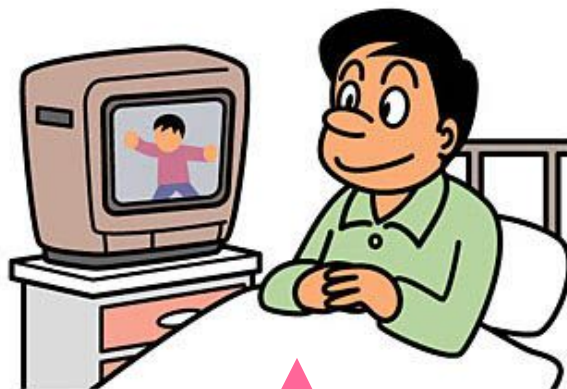
PAMプロファイルにおける Inpatient/Outpatient Encounter Managementプロセスフロー

PCD (Patient Care Devices)

患者ケア装置領域の統合

- **Device Enterprise Communication**
医療装置連携
- **Alarm Communication Management**
アラーム通信管理
- **Point-of-Care Infusion Verification**
輸液ポンプ設定管理





PDQ (Patient Demographics Query)

患者基本情報の検索

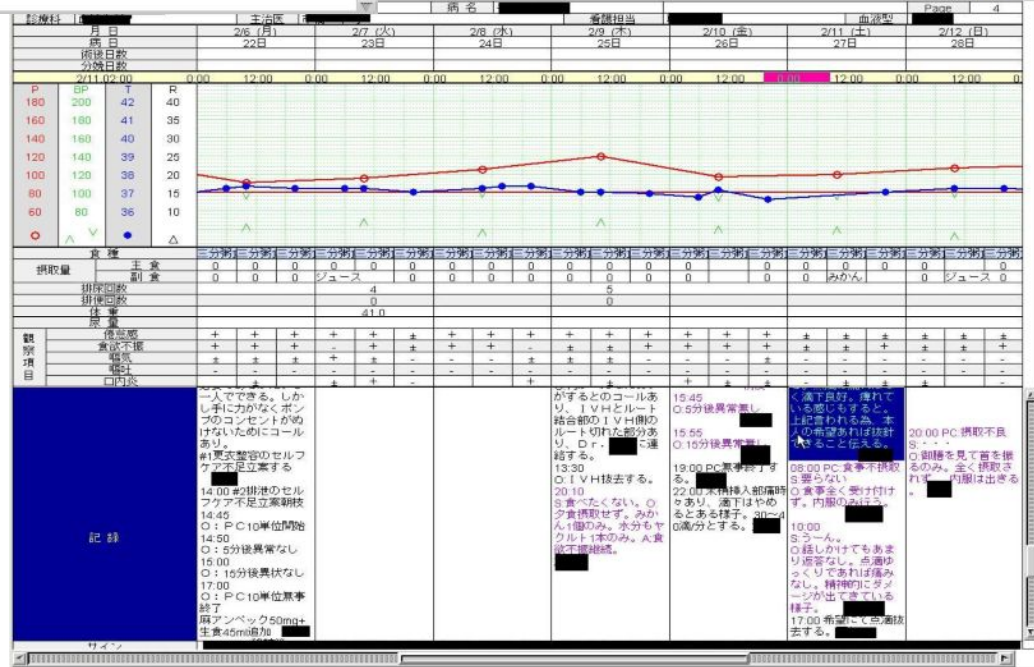
その他関連しそうな統合プロフィール

- **EUA (Enterprise User Authentication)施設内ユーザ認証**
 - ユーザ認証の集中管理, シングルサインオン
- **PSA (Patient Synchronized Applications)患者選択の連動**
 - 複数のアプリケーションで自動的に同一患者を選択
- **PIX (Patient Identifier Cross-referencing)患者ID総合参照**
 - 複数のシステムで別々に管理されている患者IDの整合性の確保
- **PWP (Personnel White Pages)医療機関職員の電話帳**
 - 病院職員の基本情報の管理
- **CT (Consistent Time)時刻の一貫性の確保**
 - システムを構成する各装置の内部時計の時刻を合わせる

最後に看護記録について

フリガナ	フリガナ			性別	女性	患者番号	フリガナ
氏名	氏名			生年月日	生年月日	入院年月日	入院年月日
病名	病名			血液型	血液型	年齢	年齢
診療科	主科	副科	担当看護師	モジュール名	モジュール名	担当者	担当者
主治医	主治医			担当医	担当医	職階者	職階者
感染症	感染症						
薬品アレルギー	薬品アレルギー						
食物アレルギー	食物アレルギー						
オーダーコメント	オーダーコメント						
バイタルサイン	体温	96/54	部位	右腕	呼吸	20	
	脈拍	70			体温	36.8	
視触	無				転倒リスク	無	
主訴	主訴						
現病歴	現病歴						
既往歴	手術	病名	治療経過				
既往歴							
病気の受けとめ方	病気の受けとめ方						
その他・希望	その他・希望						
情報提供	情報提供						

看護師計画プログラム(計画)	女性	才	操作日:2006年2月14日
カレンダー	情報収集	計画	履歴一覧
キーワード			
看護目標			
問題リスト	立案者:	登録	参照、編集
1 登	#1 更衣整容セルフケア不足	立案日	2/6
		評価予定日	2/17
		立案日	
		評価予定日	
		立案日	
		評価予定日	
評価	前回評価日:2006年2月13日	評価記録	
1	1 セルフケア:日常生活動作(ADL)(更衣し、化粧できるように患者を援助すること)	不変	
2	2 セルフケア:更衣(自分で行えない患者のために)	不変	
日常生活状況			
看護度	食事	排泄	清潔
移動	更衣		
目標	1.1 セルフケア:日常生活動作(ADL)(更衣し、化粧できるように患者を援助すること)	1.2 必要な場合、更衣の援助を行う	
	1.3 セルフケア:更衣(自分で行えない患者のために、衣服を選択し、着させ、脱衣すること)	1.4 自己にて行える場合、自分で髪を剃るように患者を促す	
	1.3 セルフケア:整容(きちんとした、清潔で魅力的な毛髪であること)	1.5 必要な場合、ひもで締めたり、ボタンをかけたリ、ジッパーを上げ下げするのを援助する	
		1.6 必要な場合、着替えた衣類等を片付ける。または片づけを手伝う	
		1.7 自分で更衣する努力を促し、ほめる	
		教育:	



看護記録の保存

記録名	保存期間	法的根拠
助産録	5年間	保健師助産師看護師法第42条第2項
看護記録	3年間	保険医療機関及び保険医療養担当規則第9条
		疑義解釈通知
	2年間 (地域医療支援病院, 特定機能病院)	医療法第22条
		医療法施行規則第21条, 22条
訪問看護等の提供に関する諸記録	2年間	指定訪問看護及び指定老人訪問看護の事業の人員及び運営に関する基準第30条

看護記録

- 看護実践の一連の過程を記録したもの
 - 基礎(個人)情報:看護を必要とする人についての属性・個別的な情報が記載されたもの。
 - 看護計画:問題を解決するための個別的なケアの計画を記載したもの。
 - 経過記録:看護を必要とする人の問題の経過や治療・処置・ケア・看護実践を記載したもの。
 - 叙述的記録(SOAPなど)
 - 温度板(フローシート, 検温表, 経過一覧表)など
 - 実施記録
 - 看護サマリー:看護を必要とする人の経過, 情報を要約したものであり, 必要に応じて作成する。

(看護記録および診療情報の取扱いに関する指針:日本看護協会編)

まとめ

- 現場サイドからのベッド単位での所在管理
 - リアルタイム性, 整合性の確保
- 機器との標準的な接続仕様
 - システム更新と機器更新は必ずしも一致しない
- どこまで情報化、病棟業務とあわせて再確認

ご清聴ありがとうございました

病棟プレイヤーが増えたとはいっても一番多いのはやはり看護師
システムに大きすぎる夢と希望を持っている看護師はまだたくさんいます
皆様どうかよろしく申し上げます